

サポートファイル

しあわせな将来のために

記入ガイド

サポートファイル作成上の留意点



「太陽・富士山・新幹線」藤田 信之作

栃木県手をつなぐ育成会

わが子の生計

親と同居している場合は難しいかもしれませんが、独立してグループホームや単身生活することを考えて、千円単位でイメージをつかむために記入します。

毎月の平均的収入

科 目	金額/月	備 考
障害基礎年金	〇〇,〇〇〇 円	1級
その他年金	〇〇,〇〇〇 円	障害厚生年金
不動産賃料収入	〇〇,〇〇〇 円	アパート賃貸料
給与等収入	〇〇,〇〇〇 円	就労継続支援B型事業所工賃
その他収入	〇〇,〇〇〇 円	重度心身障害者医療費助成
その他収入		
<p>親から自立してグループホームや入所支援施設で暮らすときの大まかな収支を考えるための参考にします。これを参考にして、「わが子にいくらお金を残したらよいか」を考えましょう。</p>		
合 計		

記入年月日 (〇〇〇〇年〇〇月〇〇日) 記入者氏名 (〇〇 〇〇)

毎月の平均的支出

科 目	金額/月	備 考
福祉サービス利用料	〇,〇〇〇 円	同行援護
福祉サービス利		<p>支出が収入を超えると、「親あるうち」は親に補助してもらうことができます。「親なきあと」は預貯金で補うこととなります。本人の浪費癖や周囲の人による不正流用などを防止するために、安全に管理する工夫も考えましょう。</p>
福祉サービス利		
税金・健康保険		
医療費	〇〇,〇〇〇 円	重度心身障害者医療費窓口支払他
食 費		<p>例えば、特定贈与信託や生命保険信託などで親の財産を渡すとき、一括して大金を渡すのではなく、定期的にある金額を渡すようにできます。わが子が成年後見制度の被後見人であれば、裁判所の指示書がないと引き出せない「成年後見制度支援信託」や「成年後見制度支援預貯金」を利用することができます。日常生活の金銭管理を支援してもらう「日常生活自立支援事業」もあります。</p>
小遣い・被服費		
その他支出		
その他支出		
合 計	〇〇〇,〇〇〇 円	

記入年月日 (〇〇〇〇年〇〇月〇〇日) 記入者氏名 (〇〇 〇〇)

不動産の種類	・土地 ・戸建て住宅 ・共同住宅 ・その他()		
所在場所等		持ち分	・単独 ・共有()
備考			

記入年月日() 記入者氏名()

不動産の種類	・土地 ・戸建て住宅 ・共同住宅 ・その他()		
所在場所等		持ち分	・単独 ・共有()
備考			

記入年月日() 記入者氏名()

不動産の種類	・土地 ・戸建て住宅 ・共同住宅 ・その他()		
所在場所等		持ち分	・単独 ・共有()
備考			

記入年月日() 記入者氏名()

生命保険・生命保険信託等

機関名	種類	証券番号	契約者名	被保険者	受取人	保管場所
〇〇生命	生命	XXXXXXXX	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	自宅金庫
〇〇生命	生命	XXXXXXXX	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	自宅金庫
〇〇火災	火災	XXXXXXXX	〇〇〇〇		〇〇〇〇	自宅金庫

記入年月日 (〇〇〇〇年〇〇月〇〇日) 記入者氏名 (〇〇 〇〇)

負債

借入名義人	借入先	返済期限	返済方法・担保	その他
〇〇〇〇	〇〇家住宅建設	〇〇〇〇年	銀行口座引き落とし	住宅ローン
〇〇〇〇	〇〇〇自動車	〇〇〇〇年	銀行口座引き落とし	自動車ローン
〇〇〇〇	義弟〇〇の保証人	見込み不明		

記入年月日 (〇〇〇〇年〇〇月〇〇日) 記入者氏名 (〇〇 〇〇)

権利を守る制度の利用（成年後見制度など）

わが子のために多額のお金を残しても、自分で管理できなければ、他人にだまし取られたり浪費してしまう危険があるだけです。判断能力の程度によって、後見人等（後見人、保佐人、補助人）をつけることが考えられます。なお、簡単な契約なら本人が自分で契約できる能力があれば、日常生活自立支援事業や福祉的な信託を利用することが考えられます。

既に成年後見人等がいる場合

類 型	・後見		・保佐		・補助	
後見人等の氏名	〇〇〇〇	続柄・所属等	〇〇〇法律事務所			
受任年月日	〇〇〇〇年 〇月 〇日		家庭裁判所名	宇都宮家裁		
後見人等の報酬	・有	・無	報酬金額	20,000円/月		
住 所	〇〇市〇〇町〇〇-〇〇					
電 話 番 号	自宅	携帯	職場	()		
	XXX-XXX-XXXX					
書類の保管場所	後見人の事務所					

記入年月日 (〇〇〇〇年〇〇月〇〇日) 記入者氏名 (〇〇 〇〇)

後見人等が複数いる場合や監督人がいる場合

類 型	・後見		・保佐		・補助		・監督	
後見人等の氏名		続柄・所属等						
受任年月日	年 月 日		家庭裁判所名					
後見人等の報酬	・有		・無		報酬金額			
住	後見人は一人でもなくてもかまいません。親、兄弟、専門職後見人、法人後見センターなど複数の後見人を選任してもらうことができます。							
電 話 番 号								
書類の保管場所								

記入年月日 () 記入者氏名 ()

後見制度支援信託または後見制度支援預貯金の利用

利用の有無	・有	・無	種 別	・支援信託		・支援預貯金	
金融機関名	JA宇都宮〇〇〇						
所 在 地	宇都宮市〇〇〇町						
契約年月日	〇〇〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日						

記入年月日 (〇〇〇〇年〇〇月〇〇日) 記入者氏名 (〇〇 〇〇)

成年後見人等候補者(成年後見人等をお願いしたい場合)

後見人の申立ては4親等以内の親族(11ページを参照)が行うか、または市町長が行います。後見人等の候補者は申立人が推薦できますが、家庭裁判所が審査して決定します。知的障害者の場合、後見人等が選任されると生涯取り消しはできません。親と専門職後見人の複数後見もできます。

子(障害者本人)の後見人候補者

氏名	住所		電話
〇〇 〇〇	〇〇市〇〇町〇〇-〇〇		XXX-XXX-XXXX
本人との関係	現 状	承 諾	
弟(三男)	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から本人に接している ・時々接している ・滅多に接していない 	<ul style="list-style-type: none"> ・了承を受けている ・話してはある ・まだ話をしていない 	
氏名	住所		電話
本人	<p>後見人は、「財産管理」だけでなく、本人の障害特性に理解があり、入所支援施設などでの生活状況をチェックし、場合によって契約変更などでもできるような障害特性に理解がある「身上保護」ができる後見人が望まれます。</p>		
	・滅多に接していない	・まだ話をしていない	

記入年月日 (〇〇〇〇年〇〇月〇〇日) 記入者氏名 (〇〇 〇〇)

親の後見人(任意後見人)

後見契約	<ul style="list-style-type: none"> ・締結している(下欄に記入) ・締結していない 	
氏名	住所	電話
関 係	公正証書契約番号	関係書類保管場所

記入年月日 (〇〇〇〇年〇〇月〇〇日) 記入者氏名 (〇〇 〇〇)

日常生活自立支援事業

後 あ る 支 援 機 関 住 電 専 門 員	<p>専門員の役割： 困りごとや悩みごとについて相談を受けます。ご本人の希望をもとに適切な支援計画作成から契約までサポートします。サービスの利用を始めてからも、支援計画を変えたい場合や心配な点があればいつでも相談できます。</p> <p>生活支援員の役割： 契約内容にそって、定期的に訪問します。福祉サービスの利用手続きや預金の出し入れをサポートします。</p>		
	〇〇 〇〇	生活支援員	〇〇 〇〇

記入年月日 (〇〇〇〇年〇〇月〇〇日) 記入者氏名 (〇〇 〇〇)

葬儀等の希望

親の葬儀、墓、供養

葬儀をするか する しない まだ決めていない

宗教・宗派 宗教・宗派名 ○○○宗○○派

寺院・教会名 ○○○寺 所在地 ○○市○○町○○○

葬儀社・互助会 ・社名 ○○互助会 電話 XXX-XXX-XXXX

決めていない

お墓について ・墓地名 ○○○霊園 所在地 ○○市○○町○○○

ない

供養についての希望 一般葬 家族葬 その他()

その他

(例1) 初七日、四十九日、一周忌、三回忌、七回忌まで供養して欲しい。

(例2) 墓の継承は次男○○に頼んで欲しい。

(例3) 互助会に入っているので、費用はそこから出してください。

(例4) わが子には身寄りがないから樹木葬にして欲しい。

記入年月日 (○○○○年○○月○○日) 記入者氏名 (○○ ○○)

わが子の葬儀、墓、供養

葬儀をするか する しない まだ決めていない

宗教・宗派 宗教・宗派名 ○○○宗○○派

寺院・教会名 ○○○霊園 所在地 ○○市○○町○○○

葬儀社・互助会 ・社名 ○○互助会 電話 XXX-XXX-XXXX

決めていない

お墓について ・墓地名 ○○○霊園 所在地 ○○市○○町○○○

ない

供養についての希望 一般葬 家族葬 その他()

その他

(例1) 太郎の遺骨は、親と同じ墓に入れて欲しい。

(例2) 妹の○○が元気であれば彼女に相談してください。

記入年月日 (○○○○年○○月○○日) 記入者氏名 (○○ ○○)

連絡が必要な親族

緊急時に連絡する親族を記入します。

氏名	続柄	住所	電話	備考
〇〇 〇〇	次男	〒XXX-XXXX 〇〇市〇〇町〇〇〇	XXX-XXX-XXXX	最初に連絡
〇〇 〇〇	長女	〒XXX-XXXX 〇〇市〇〇町〇〇〇	XXX-XXX-XXXX	最初に連絡
〇〇 〇〇	〇〇	〒XXX-XXXX 〇〇市〇〇町〇〇〇	XXX-XXX-XXXX	
〇〇 〇〇	〇〇	〒XXX-XXXX 〇〇市〇〇町〇〇〇	XXX-XXX-XXXX	
〇〇 〇〇	〇〇	〒XXX-XXXX 〇〇市〇〇町〇〇〇	XXX-XXX-XXXX	
		〒		
親の急な入院や死亡で、わが子と暮らせなくなったときの連絡に使いましょう。優先度が高い順に記入するよいでしょう。真っ先に連絡して欲しい人の備考欄に説明を記入しましょう。				
		〒		

記入年月日 (〇〇〇〇年〇〇月〇〇日) 記入者氏名 (〇〇 〇〇)

親しく相談や見守りをしている人（親族以外）

親しく相談している人とは、利用している事業所の支援者、グループホームの世話人、民生委員などのことで、遊び仲間の親しい友人は除きます。

氏名	電話	本人との関係	職業等
〇〇 〇〇	XXX-XXX-XXXX		通所事業所の所長
〇〇 〇〇	XXX-XXX-XXXX	サービス等利用計画 作成者	相談支援専門員
〇〇 〇〇	XXX-XXX-XXXX	地元の民生委員	自営の商店主
〇〇 〇〇	XXX-XXX-XXXX	特別支援学校のときの 担任の先生	学校教員
本人の行動や障害の特徴を知っている人に◎をつけるか、または優先順に記入します。			

記入年月日 (〇〇〇〇年〇〇月〇〇日) 記入者氏名 (〇〇 〇〇)

親なきあとのわが子についてのお願い

親族へのお願い

- (例1) 次男〇〇の後見人申立は、姉〇〇にやってもらいたい。
 (例2) できるだけよいから、正月には兄〇〇の家族と交流を続けさせて欲しい。
 (例3) 地域生活支援拠点のグループホーム〇〇を体験利用をさせて欲しい。

記入年月日 (〇〇〇〇年〇〇月〇〇日) 記入者氏名 (〇〇 〇〇)

利用施設・事業所へのお願い

- (例1) 利用してきた短期入所と同じ入所支援施設〇〇園に入所させたい。
 (例2) 現在通所している生活介護事業所を今後も利用させて欲しい。

記入年月日 (〇〇〇〇年〇〇月〇〇日) 記入者氏名 (〇〇 〇〇)

行政・相談機関へのお願い

- (例1) お世話になっている相談支援専門員〇〇さんに支援してもらいたい。
 (例2) グループホームに入るまでの間、または入れなかった場合ひとり暮らしになるので、地域の民生委員〇〇さんに定期的に訪問して欲しい。
 (例3) 地域生活支援拠点でグループホームの体験利用をさせたい。

記入年月日 (〇〇〇〇年〇〇月〇〇日) 記入者氏名 (〇〇 〇〇)

わが子の入院など緊急時の対応

- (例1) 先ずかかりつけの〇〇医院の〇〇先生に相談して欲しい。
 (例2) てんかん発作で入院が必要になったときは、てんかん専門医がいる〇〇病院に入院させて欲しい

記入年月日 (〇〇〇〇年〇〇月〇〇日) 記入者氏名 (〇〇 〇〇)

親なきあとの住まいについて

わが子の希望 住居の種類 (複数選択可)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用したい ・グループホーム ・その他 (弟と一緒に今の家で暮らしたい。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用したくない ・入所施設 	・確認できない
親の希望 住居の種類 (複数選択可)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用させたい ・グループホーム ・その他 (短期入所で利用してきた〇〇園に入所させたい。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用させたくない ・入所施設 	

記入年月日 (〇〇〇〇年〇〇月〇〇日) 記入者氏名 (〇〇 〇〇)

遺言

遺言書には、自筆証書遺言（自筆遺言書）、公正証書遺言、秘密証書遺言の3種類があります。遺産相続では自筆遺言書は真偽でもめることがあるので、公正証書遺言書や秘密証書遺言書の方がよいでしょう。2018年（平成30年）7月の民法改正に伴い、相続法も改正され、自筆遺言書を法務局遺言書保管所に保管できるようになりました。相続で自筆遺言書の真偽でもめたり、遺言書の保管場所が不明になることを避けられます。なお、自筆遺言書は全文を自署で作成しなければなりません。添付する相続財産目録については、パソコンで作成できるようになりました。

遺言書の有無

•遺言書はない

•公正証書遺言がある

保管場所

公証役場名

•自筆証書遺言がある

作成年月日 ○○○○年○○月○○日

遺言原本の保管場所

•法務局（遺言書保管所）

•自宅

•その他（

）

•遺言執行者をお願いしたい人（申立てにより家庭裁判所が選任します。）

•決めてある

氏名

連絡先

•決めてない

記入年月日（ ○○○○年○○月○○日 ） 記入者氏名（ ○○ ○○ ）

遺言書がある場合またはこれから作成する場合は記入してください。

•財産は誰に残したいか

（例1）法定相続人は妻と息子○○と娘○○の3人である。

（例2）長男○○には相続放棄させて、夫と次男○○で相続して欲しい。

（例3）妻に3/4（法定相続分と遺留分）、2人の息子には各々1/8を相続させて欲しい。

（例4）家業を継ぐ次男（次郎）にゆずりたい。

•家族やお世話になった人々に伝えたいメッセージ

（例1）現在、私は娘○○の後見人である。後任には知的障害に理解がある法人後見○○を候補者として家裁に推薦申立をして欲しい。

（例2）現在夫と私が複数後見人である。夫が後見人業務を遂行できる間は、専門職後見人を後任に推薦して複数後見人にして欲しい。

（例3）休日でもよいから、たまには施設に面会に行って欲しい。

記入年月日（ ○○○○年○○月○○日 ） 記入者氏名（ ○○ ○○ ）